

【女性限定】東京大学大学院総合文化研究科 地域文化研究専攻（フランスおよびフランス語圏）専任講師  
公募

1.	職名及び人数	専任講師 1名
2.	採用予定日	令和6（2024）年11月1日以降のなるべく早い時期
3.	契約期間	期間の定めなし
4.	試用期間	採用された日から6か月間
5.	就業場所	大学院総合文化研究科（東京都目黒区駒場3-8-1） 変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）
6.	所属	大学院総合文化研究科地域文化研究専攻／教養学部フランス語・イタリア語部会
7.	業務内容	<p>1) 大学院総合文化研究科地域文化研究専攻等における専門教育、広域フランス語圏の歴史と社会等に関する授業・研究指導等</p> <p>2) 教養学部後期課程（3・4年生対象）における専門教育、教養学科地域文化研究分科フランス研究コースの授業・研究指導等</p> <p>3) 教養学部前期課程（1・2年生対象）における外国語科目フランス語等</p> <p>4) 上記の活動に係わる組織・行政上の諸業務</p> <p>※ 1)～3)に関わる組織・教育活動については、以下のURLを参照されたい            大学院 地域文化研究専攻 <a href="http://ask.c.u-tokyo.ac.jp/">http://ask.c.u-tokyo.ac.jp/</a>            教養学部 教養学科 <a href="http://www.c.u-tokyo.ac.jp/guidance/depart01.html">http://www.c.u-tokyo.ac.jp/guidance/depart01.html</a>            教養学部 前期課程 フランス語・イタリア語部会 <a href="http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp/">http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp/</a></p> <p>変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）</p>
8.	就業時間	専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる
9.	休日	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
10.	休暇	年次有給休暇、特別休暇 等
11.	賃金等	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり 参考 博士修了／34万円～ 諸手当 賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円まで）の他、本学の定めるところによる
12.	加入保険	法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労働保険に加入
13.	応募資格	<p>下記のすべての条件に該当する方</p> <p>1) 博士号を有するか、令和6（2024）年10月末までに取得予定の方、あるいは同等の研究業績を有する方</p> <p>2) 学際的な地域文化研究への深い理解に基づいて、広域フランス語圏の歴史と社会を多角的な視点から研究し、優れた業績をあげている方</p> <p>3) 前期課程フランス語の授業を担当する十分な能力と意欲を持つ方（大学でのフランス語教授歴があることが望ましい。）</p> <p>4) その他、上記「7.業務内容」を担当する十分な能力と経験のある方</p> <p>5) 日本語を第一言語としない場合は、授業や学内業務に支障のない日本語能力を有する方</p>
14.	提出書類	<p>1) 東京大学統一履歴書（様式については以下のURLからダウンロードして作成すること。）  <a href="http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html">http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html</a>            ※記入要領については上記URLによらずに以下を参照すること  <a href="https://www.c.u-tokyo.ac.jp/faculty/soumu/jinji/download-">https://www.c.u-tokyo.ac.jp/faculty/soumu/jinji/download-</a></p>

		<p><a href="#">jinji/rireki_20220823.pdf</a></p> <p>2) 最終学歴を証明する書類（コピー可。学位取得予定者の場合、その旨を証明する所属長もしくは指導教員の文書を添付すること。）</p> <p>3) 研究業績リスト（A4 サイズ、様式自由。ただし、著書、学術論文、学会発表等に分類し、主要業績3 点に○を付けること。3 点の中にフランス語による業績を含むことが望ましい。）</p> <p>4) 上記主要業績 3 点（日本語・英語以外で書かれた論文については、日本語で A4 用紙 1 枚程度の概要をつけること。学位取得予定者は、提出済みの博士学位請求論文あるいは提出予定の論文の草稿を必ず 3 点の中に含めること。なお業績については、後日追加提出を求める場合がある。）</p> <p>5) これまでの研究の概要と今後の研究計画（A4 サイズ、様式自由。日本語で 2000 字程度）</p> <p>6) 教育に関する抱負（A4 サイズ、様式自由。日本語で 1000 字程度）</p> <p>7) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、所属、連絡先（A4 サイズ、様式自由）</p> <p>※ 以上のすべての書類を PDF ファイルとして提出のこと。4) についても原則として PDF ファイルでの提出とする。ただし、著書や学位論文を提出する方で、PDF 化が困難な事情がある場合に限り、現物を郵送などにより送付してもよい。</p>
15.	提出方法	<p>以下の Google フォームに必要事項を記入し、「14. 提出書類」の各 PDF ファイルをアップロードすること。</p> <p><a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd65o-FpFNGPKir7R0oS--B5WDDfJDrJfQ3bXdt-j_YXwE8ew/viewform">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd65o-FpFNGPKir7R0oS--B5WDDfJDrJfQ3bXdt-j_YXwE8ew/viewform</a></p> <p>※ 応募が完了すると自動的に受信確認メールが届く。応募受付期間終了後、数日以内に改めて受領確認のメールが送信される。そのメールが届かない場合は申し出ること。なお、ファイルアップロードのためには Google アカウントが必要となる。</p> <p>※ 著書や学位論文の現物を提出する場合、応募書類の封筒に「研究業績（フランス公募）在中」と朱書し、簡易書留等、記録が残る方法で 17. の宛先に送付すること。</p>
16.	応募締切	<p>令和 6（2024）年 6 月 12 日（水）18:00 必着（ただし現物送付については締切日の就業時間内に下記「業績送付先」まで届いていること。）</p> <p>書類選考の上、面接等第二次選考を行う（面接は、状況によっては Zoom 等を使用してオンラインで実施する場合もある）。面接の際、フランス語と後期課程の専門に関する模擬授業を課す場合がある。第二次選考に要する交通費等は自己負担とする。なお、遠隔地に住み来学が困難な方に対しては、面接方法を配慮する場合もある。</p>
17.	業績送付先および問い合わせ先	<p>【業績送付先】</p> <p>〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1</p> <p>東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 専攻長 和田 毅 宛</p> <p>e-mail: area[at mark]ask.c.u-tokyo.ac.jp</p> <p>（表記のメールアドレスの [at mark] は@に置き換えること。）</p>
18.	募集者名称	国立大学法人東京大学
19.	受動喫煙防止措置の状況	原則敷地内禁煙（屋外に指定喫煙場所あり）
20.	その他	<p>1) 送付された研究業績の現物は原則として返却しない。返却を希望する場合は、返送先の住所・氏名を記入したレターパックや切手を貼った封筒等を必ず同封すること。</p> <p>2) 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しない。</p> <p>3) 東京大学は男女共同参画を推進している。</p> <p>4) 外国人研究者の積極的な応募を歓迎する。</p> <p>5) 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。</p>

	る。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。
--	--